

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日：2011年7月4日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部政治学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	アラバマ大学 The University of Alabama
留学期間	2010年8月～2011年5月
留学した時の学年	3年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文科学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2011年5月12日
明治大学卒業予定年	2012年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：8月中旬～12月上旬 2学期：1月中旬～5月上旬 3学期： (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	約2万人
創立年	1831年

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	\$ 492.7	40000円	
宿舍費	\$ 5105.18	415000円	大学指定寮
食費	\$ 3690.49	300000円	
図書費	\$ 246.03	20000円	大学で販売している中古テキストを使用
学用品費	\$ 123.02	10000円	
教養娯楽費	\$ 1230.16	100000円	アメリカ国内旅行など
被服費	\$ 123.02	10000円	コートなどの重い衣服以外持参
医療費	\$ 123.02	10000円	検診代と薬代
保険費	\$ 1476.20	120000円	形態：アラバマ大学保険
渡航旅費	\$ 4182.56	340000円	就職活動の為、一時帰国あり
雑費			上記食費に雑費を含める
その他			
その他			
その他			
合計	\$ 16792.38	1365000円	

## 渡航関連

**渡航経路：**成田→シカゴ→バーミングハム

渡航費用

チケットの種類	片道格安航空券
往路	16万円
復路	8万円
合計	24万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

渡米：日本の旅行代理店を利用→IACE トラベル (<http://www.iace.co.jp/>)

帰国：アメリカの格安航空券販売サイトを利用→Priceline.com (<http://www.priceline.com/>)

※アメリカで買う方が、絶対に安いです！特に、円高の影響でかなり違います。

## 滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）

大学の宿舎

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋（同居人数3人）

3) 住居を探した方法：

大学の推奨。申込をすれば、現地大学が部屋を割り当ててくれます。

4) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）

異文化圏の人々と共に暮らすことになるので、出来る限り相手に対する許容範囲を広くしておくよう、心がけた方が良いと思います。私は、ルームメイトとのトラブルは全くありませんでしたが、日本人の友人の多くは、異なる生活スタイルを持つルームメイトと揉めていました。入居する際は、自己紹介をする際、生活上の大まかな確認と取り決めをしておくとも良いかもしれません。例えば、夜は料理をするのでなるべくキッチンを使いたいとか、シャワーは朝に浴びるとか。相手に対する思いやりと、互いが納得するルールを作れば、文化が違うルームメイトとも楽しく暮らせると思います。

（どうしてもルームメイトが合わない場合は、部屋を変えてもらうことも可能だと思いますので、あまり心配しなくても大丈夫だと思います。）

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した：総合医院

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

現地の友人。特別な相談窓口はありませんでしたが、留学生担当者に相談出来ると思います。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

現地で犯罪に巻き込まれることは、ありませんでした。危険地域などの情報は、現地の友人やそこに住んでいる人々の方がよく知っています。不安な場所に行く際は、是非現地の友人に付き添ってもらうか、しっかり情報を聞いて対策すれば、大丈夫です。

4) パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか。

（例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。）

パソコンやインターネットに関しては、寮の部屋や大学中で無線LANが使用可能なので、自分のPCを是非持っていくと良いと思います。接続は至って良好です。携帯電話は、現地でプリペイドのものを購入しました。

<p>5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？（例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。）</p> <p>現地に銀行口座は開設せず、日本のクレジットカードとキャッシュパスポートというカードを使用していました。食事や買い物の際も、カードを使うことが多いので、入国前に少し多めに現金を持っていけば、現地で下ろす必要はありません。キャッシュパスポートですが、所謂デビットカードのようなもので、チャージした金額だけ使用できます（チャージは日本にいる家族にやってもらいました）。予め、オリジナルとスペアカードをもらえるので、万一現地でカードを無くしてもクレジットとは違い、すぐに使うことができます。紛失の際の面倒な手続きも省け、セキュリティも安全なので、個人的にはオススメです！</p>
<p>6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。</p> <p>特に女性は、オシャレ着などの洋服や下着を持っていくと思うので、洗濯ネットとエマール（手洗い用洗剤）を持っていくと良いと思います。アメリカの洗濯機の威力は、すごいです…笑 それから、地味に持って行って良かったものは、室内用スリッパです。これは、現地調達が難しいです。室内でも靴を履いていると蒸れるので、使うと思いますよ。その他のものは、現地調達可能です！ 就職活動を間近に控えてる方なら、履歴書と証明写真は日本から持っていくべきです！</p>
<b>進路について</b>
<p>1) 進路</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>就職      <input type="checkbox"/>進学      <input type="checkbox"/>未定      <input type="checkbox"/>その他：</p>
<p>2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など</p> <p>両親の意見、自分の経験、友人の進路</p>
<p>3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）</p> <p>日野自動車 （理由：アメリカ留学を通し、環境問題に興味を持ち、二酸化炭素削減に貢献する車作りや海外展開に力を入れる姿勢に魅力を感じました。）</p>
<p>4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。（例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。）</p> <p>私は、東日本大震災の影響でメーカーや商社の春採用に応募することができ、内々定をいただきました。夏・秋採用向けのキャリアフォーラムにも参加しましたが、かなり企業や業種が限られてしまいます（私が内々定を頂いた日野自動車は、通常ならば私が帰国する前に新卒採用の募集は終わっていますので）。したがって、渡米する前に、キャリアセンター等に行き、夏・秋採用はどんな企業に申込可能なのか、それとも1年卒業を遅らせるのか、考えた方がいいと思います。ちなみに、私は夏・秋採用について、特に調べていなかったの、正直、選考が遅れてラッキーでした。また、全てを渡航前にこなすことは難しいと思うので、留学中にでもある程度志望する企業や業界を決めたら、担当者にコンタクトを取ることをお勧めします。もし、選考を遅らせてもらうことが出来ないのであれば、米国から書類やESを提出してみよう！実際、私も1社提出し、4月に面接の為、一時帰国しました（この会社には内定を頂けませんでした）。お金は掛かりますが、そこまでの学生は居ないので、面接官にとってかなり好印象だと思います。</p>
<p>5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。</p>
<p>6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書き下さい。</p>
<p>7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。</p>

### 学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計
24単位	10単位
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Scope Political Science	政治学概論
科目設置学部・研究科	Political Science
履修期間	Fall 2010（8月中旬～12月上旬）
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Elizabeth A. Price
授業内容	国家の成り立ちや政治学理論など、政治学における広範囲の基礎知識を扱います。
試験・課題など	授業内の小テスト3回と、ターム最後の期末テスト
感想を自由記入	授業では、パワーポイントや資料の配布は無く、板書もあまりないので、先生の話聞いてメモを取らねばなりません。しかし、授業やテストはテキストに沿って展開されるので、毎日きちんと予復習しておけば、実り多きものになります。私の専攻である政治学の基礎が幅広く学べ、その後の学習にも役立ったので、政治経済学部の学生にはおススメです。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Survey of Asian Religions	アジアの宗教
科目設置学部・研究科	Religious Studies
履修期間	Fall 2010（8月上旬～12月上旬）
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Steven W. Ramey
授業内容	ヒンドゥー教、仏教、イスラム教、神道など、アジア諸国の宗教について勉強します。担当教授はインドが専門なので、特にヒンドゥー教に力を入れて教えてくれます。
試験・課題など	レポート2回、小テスト2回と期末テスト
感想を自由記入	授業はパワーポイントを使って展開される上、授業自体がレコードされており、e-Learningで復習することが可能なので、とても勉強しやすいです。指定テキストの数は多いので、たくさん読むことになると思います。アメリカ人の先生に教えられる日本の神道や仏教は、なかなか新鮮で面白かったです。

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
Introduction to Religious Studies		宗教学概論	
<b>科目設置学部・研究科</b>	Religious Studies		
<b>履修期間</b>	Fall 2010（8月上旬～12月上旬）		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に75分が2回		
<b>担当教授</b>	Steven L. Jacobs		
<b>授業内容</b>	宗教を研究することの意義や方法論について学びます。この先生独自のプログラムですが、タームの最後には学生同士で6人程のチームを作り、自分達で新しい宗教を創作しクラスで発表させます。		
<b>試験・課題など</b>	中間テストとグループプロジェクト（宗教作り）、期末テスト		
<b>感想を自由記入</b>	このクラスではパワーポイントは用いますが、先生のスピードが速く、全てをメモすることは出来ません。ひたすら、先生の話す内容をノートに取っていました。宗教学概論の授業でも数種類あり、先生によって授業内容は異なるため、十分に比較検討してから、履修する授業を決めた方が良いと思います。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
History of Christian Thought		キリスト教史	
<b>科目設置学部・研究科</b>	Religious Studies		
<b>履修期間</b>	Fall 2010（8月中旬～12月上旬）		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に75分が2回		
<b>担当教授</b>	Timothy M. Murphy		
<b>授業内容</b>	キリスト教における有名な哲学者の著書を読み、その思想体系を学びます。例えば、アウグスティヌスやトマス・アキナス、ルソーといった人々を扱います。		
<b>試験・課題など</b>	授業内テスト1回、小レポート2回とレポート1回		
<b>感想を自由記入</b>	テキストは古い英語で書かれたもの（原書）を読むので、読解するのが大変でした。また、授業ではパワーポイントを用いず、先生の話聞いてノートを取るの、私は下調べが必要でした。日本から持ってきていた、倫理の資料集といった本が役に立ちました。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
General Anthropology		文化人類学概論	
<b>科目設置学部・研究科</b>	Anthropology		
<b>履修期間</b>	Spring 2011（1月中旬～5月上旬）		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に50分が3回		
<b>担当教授</b>	Kathryn Oths		
<b>授業内容</b>	衣食住に基づく民族分類や文化の違いといった、文化人類学の基礎を具体的事例を用いて研究していきます。		
<b>試験・課題など</b>	中間テスト2回と期末テスト		
<b>感想を自由記入</b>	週に3回ある授業の中で、週2回は全体講義、残りの1回は少人数にてビデオを見たり、ディスカッションをしたりします。少人数クラスではチューターが各クラスについて授業を展開してくれるので、きめ細かい対応をしてくれます。形態においても、内容においても、日本の大学では受けることが出来ない授業を経験することができるので、おススメです。また、この先生はe-Learningも提供してくれます。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
International Relations		国際関係学	
<b>科目設置学部・研究科</b>	Political Science		
<b>履修期間</b>	Spring 2011（1月中旬～5月上旬）		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に50分が3回		
<b>担当教授</b>	Jane A. Munga		
<b>授業内容</b>	国際政治学の思想体系や紛争といった、基礎知識を幅広く扱います。チームの後半では、6人程のグループになり、割り当てられた国について調べ、レポートを書き、授業内でパワーポイントを用い発表します。今回は担当教授がケニア出身であったので、南北問題をテーマにアフリカの諸国が各チームに割り振られました。		
<b>試験・課題など</b>	小テスト5回、チームプロジェクト（レポートとプレゼン）と期末テスト		
<b>感想を自由記入</b>	授業はパワーポイントを使用して行われ、内容もテキストに沿っているので、きちんとテキストを読んで予習しておけば、理解が深まる授業でした。毎回、冒頭で世界中のニュースを学生に言わせるので、国際時事についての関心が高まるとともに、様々な国籍の学生の意見や興味が聞けるので、とても有意義でした。東日本大震災直後の授業では、日本の悲劇が取り上げられ、日本の学生として他の学生に日本を発信しました。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
Political Theory		政治学思想	
<b>科目設置学部・研究科</b>	Political Science		
<b>履修期間</b>	Spring 2011（1月中旬～5月上旬）		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に75分が2回		
<b>担当教授</b>	Naomi Choi		
<b>授業内容</b>	有名な政治学における思想を勉強します。例えば、社会契約論のホッブズ、ロック、ルソーや功利主義のベンサム、ミルなど。NHKの白熱教室でおなじみのマイケル・サンデル教授の授業のビデオを見ることもありました。		
<b>試験・課題など</b>	小テスト5回、レポート回と期末テスト		
<b>感想を自由記入</b>	このクラスも原書で英語のテキストを読みますので、読解するのが大変でした。パワーポイントは使用せず、先生の話聞いてノートを取ります。有名な思想を深く勉強するので、基礎知識の確認と思考を深めるのに役立つ授業でした。また、マイケル・サンデル教授の授業のビデオは、授業を取らなくても見ることをおすすめします。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
Religion & Film in America		アメリカの宗教と映画	
<b>科目設置学部・研究科</b>	Religious Studies		
<b>履修期間</b>	Spring 2011（1月中旬～5月上旬）		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義形式（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に75分が2回		
<b>担当教授</b>	Kathryn M. Simmons		
<b>授業内容</b>	アメリカ南部における宗教やステレオタイプを映画から読み解きます。もちろん、扱う映画は南部を舞台にしたものばかりです。		
<b>試験・課題など</b>	ディスカッションポスト（e-Learning）、小レポート5回、グループプロジェクトと期末テスト		
<b>感想を自由記入</b>	各自で映画を鑑賞し、それについての評論を読み自分の意見をレポートにて書かせます。映画の他にも、映画における宗教研究の本や小説を読むこともあります。日本人には分からない、アメリカ人の南部に対するステレオタイプや冗談といった、アメリカ文化深層が学べます。		

## 留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2010年 1月～3月	3月 留学先大学書類提出
4月～7月	5月下旬 留学先大学入学許可証到着、予防接種 6月 英会話 (リバティアカデミー) 6月中旬 VISA 面接→VISA 到着 (3日後)、予防接種 7月上旬 留学説明会、予防接種
8月～9月	8月7日 渡米 8月中旬 オリエンテーション→秋期授業開始
10月～12月	10月下旬 留学生向けキャリアフォーラム@ボストン 11月下旬 Thanks giving holiday (5日間) 12月初旬 期末テスト週間→冬休み (約1カ月間)
2011年 1月～3月	1月中旬 春期授業開始 3月上旬 中間テスト→春休み (1週間半ほど)
4月～7月	4月初旬 就職活動 (面接) の為、一時帰国 (1カ月程) 5月上旬 期末テスト (今年は竜巻が発生し、期末テスト無しで4月いっぱいタームが終了してしまいました) 5月中旬 日本へ帰国→就職活動 6月中旬 留学生向けキャリアフォーラム@東京 7月初旬 内々定